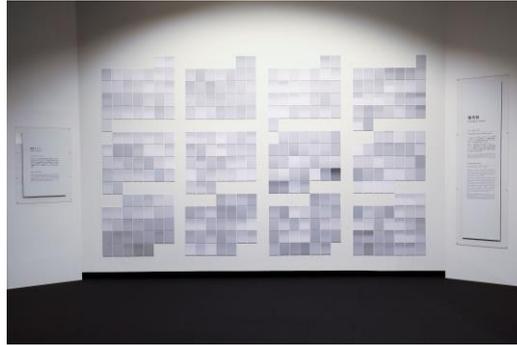


「写真新世紀 2018 年度（第 41 回公募）」のグランプリが決定

2018年11月2日（金）に、キヤノン主催の文化支援プロジェクト「写真新世紀 2018 年度（第 41 回公募）」のグランプリ選出公開審査会が、東京都写真美術館（東京都・目黒区）で行われ、ソン・ニアン・アン氏（受賞作品『Hanging Heavy On My Eyes』）がグランプリを受賞しました。



ソン・ニアン・アン氏のグランプリ受賞作品
『Hanging Heavy On My Eyes』

「写真新世紀 2018 年度（第 41 回公募）」は、4月18日（水）から6月13日（水）まで公募を行いました。国内外から多くの作品が集まり、1,992名（組）の応募がありました。この中から、本年7月の優秀賞選出審査会で、優秀賞受賞者7名と佳作受賞者12名が選出されました。

11月2日（金）に行われたグランプリ選出公開審査会で、優秀賞受賞者7名は、それぞれプレゼンテーションおよび審査員との質疑応答に臨み、その後、審査員の合議により、ソン・ニアン・アン氏のグランプリ受賞が決定しました。

ソン・ニアン・アン氏には、奨励金として100万円ならびに副賞としてミラーレスカメラ「EOS R」／交換レンズ「RF24-105mm F4 L IS USM」（2018年10月25日発売）が贈呈され、来年秋に予定されている「写真新世紀展 2019」の開催期間中に、新作個展を開催する権利が授与されます。なお、グランプリ選出公開審査会の詳細は、今後、「写真新世紀」ホームページにて紹介予定です。

グランプリを受賞したソン・ニアン・アン氏の作品を含む、優秀賞および佳作の受賞作品は、東京都写真美術館にて開催中の「写真新世紀展 2018」で11月25日（日）まで展示しています。

<「写真新世紀」とは>

「写真新世紀」は、写真表現の可能性に挑戦する新人写真家の発掘・育成・支援を目的とした文化支援プロジェクトで、1991年にスタートし今年で28年目を迎えました。受賞作品展の開催や受賞作品集の制作、ホームページでの情報発信など、受賞者の育成・支援活動を総合的に行い、次世代の写真表現を切り開く新しい才能を発掘し、写真界に新風を吹き込む活動を展開しています。これまでの応募者総数は29,398名（組）に上り、国内外で活躍する優秀な写真家を多数輩出するなど、新人写真家の登竜門として認知されています。



グランプリ受賞者 ソン・ニアン・アン氏



優秀賞受賞者 7 名

■ 受賞者の作品について

インドネシア、スマトラ島のパーム油プランテーションで森林火災が増えており、しばらく停滞するヘイズ（煙霧）が隣接するシンガポールとその周辺地域で繰り返り起こっています。

写真には文字通り指標的な性格がありますが、それを生かして、シンガポール国家環境庁が日々発表する大気汚染指標（PM2.5）の記録を暗室で印画紙に焼き付けながら、少しずつ変化を示す銀塩写真に作りあげ、目に見えない空気を可視化しました。

■ 受賞者のコメント

グランプリを受賞したソン・ニアン・アン氏は、受賞の感想を次のように述べました。

「優秀賞に選ばれた作品のクオリティはいずれも非常に高く、厳しい選考を経て、私の作品がグランプリに選ばれたことに感動しました。他のアーティストの作品には、彼らの日常における個人的な逸話や物語が背景にあり、私はとても謙虚な気持ちになりました。今回の受賞作品展でのスムーズな運営や、アーティストのこだわりに対して理解を示してくださった「写真新世紀」の関係者に感謝を申し上げます。」（抄訳）

■ 審査員のコメント

優秀賞選出審査会において、ソン・ニアン・アン氏を優秀賞に選出した審査員のエミリア・ヴァン・リンデン氏は、ソン・ニアン・アン氏のグランプリ受賞について、次のように述べました。

「グランプリ受賞作品は、今日の写真と、アーティスト達がいかに伝統的な手法から離れ、写真の限界を押し広げているかを、よく反映していると思います。同時に、写真が優れた芸術の一部となり、写真という一つの媒体として切り離されたものではなく、つつあることも示しています。そのため、今回のプロジェクトは、写真という媒体を探求する先進的な手法を、明確に反映したものであると考えています。」（抄訳）

■ 「写真新世紀展 2018」実施概要

日 時：10月27日（土）～11月25日（日）10：00～18：00

*木・金曜日は20：00まで 毎週月曜日は休館日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館）

会 場：東京都写真美術館 地下1階展示室

東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL 03-3280-0099

JR線「恵比寿駅」より徒歩約7分

東京メトロ日比谷線「恵比寿駅」より徒歩約10分

入 場 料：無料

出 展 者：2018年度 優秀賞および佳作受賞者（計19名）

主 催：キヤノン株式会社

共 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

同時開催：2017年度 グランプリ受賞者 トロン・アンステン氏／ベンヤミン・ブライトコ
プフ氏 新作個展『Another man's floor』

<ご参考>

来年度に実施を予定している「写真新世紀展 2019」については、詳細が決定次第、「写真新世紀」ホームページにてご案内いたします。